2025年5月15日

各　　位

会 社 名　株式会社リミックスポイント
代表者名　代表取締役社長 CEO　高橋　由彦
（コード番号：3825）
問合せ先　経営企画部長　馬門　沙弓
（TEL：03-6303-0280）

# 2025年３月期通期連結業績予想値と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2025年２月14日付「2025 年３月期通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」のとおり、2025年３月期（2024年４月１日～2025年３月31日）の通期連結業績予想を公表しておりますが、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2025年３月期通期連結業績予想値と実績との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回予想発表（A）<br>（2025年２月14日発表） | 24,200 | 970 | 1,650 | 1,300 | 10.81 |
| 当期実績（B） | 21,129 | △1,211 | △541 | △593 | △4.92 |
| 増減額（B－A） | △3,070 | △2,181 | △2,191 | △1,893 | △15.73 |
| 増減率（%） | △12.6 | － | － | － | － |
| 前期実績<br>（2024年３月期） | 20,487 | 1,743 | 1,758 | 1,070 | 8.98 |

２．差異の理由

2025年２月14日公表の2025年３月期通期連結業績予想（以下、「修正連結業績予想」といいます。）の売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益と2025年３月期連結業績（見込み）との差異に係る主な理由は、保有する暗号資産の評価損（売上高の減少）の計上によるものであります。

当社は、2024年11月14日付「新たな事業（金融投資事業）の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、新たに暗号資産投資、株式投資及び融資等に係る投融資事業を営む「金融投資事業」を開始し、当第３四半期連結会計期間より「金融投資事業」を報告セグメントに含め、保有する暗号資産の評価損益は売上高に計上しております。

金融投資事業における暗号資産投資事業につきましては、米国を中心とした各国における暗号資産の利用推進への政策転換を鑑み、これまで当社取締役会において総額110億円の暗号資産を購入する旨を決議し、2025年５月15日現在で105億円の購入が完了しておりますが、2025年２月14日公表の修正連結業績予想においては、2024年12月31日時点における暗号資産評価損益を反映し、2025年１月１日から同年３月31日における保有暗号資産及び暗号資産関連投資に係る損益は含めておりませんでした。

2025年１月１日から３月31日までの暗号資産投資事業を取り巻く事業環境としましては、同年１月20日にトランプ氏が米国大統領に就任後も、暗号資産価格は順調に推移していましたが、トランプ大統領が２月10日に、米国が輸入する全ての鉄鋼・アルミニウムに対し、25％の関税をかける命令をし、同月26日には、欧州連合（EU）からの全輸入品に対して25％の関税を検討していると言及したことで、今後の世界経済における不確実性の発現や、米国連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ実施時期の先送り懸念等により、暗号資産を含めたリスク資産全般への警戒感が高まりました。また、同年２月には、暗号資産取引所Bybitにおける約14億ドル相当の巨額暗号資産の不正流出も発生いたしました。これらの複合的な事由により、ビットコイン価格が一時期８万ドルを割るなど大きな下落相場も見られました。このような状況下、当社は、2025年３月31日時点の保有暗号資産の時価に基づき、2,049百万円の暗号資産評価損（売上高の減少）を計上したことにより、２月14日公表の修正連結業績予想値を下回る見込みとなりました。

以　上